



2021年6月15日

関係各位

APEV 技術委員会ウェビナー 2021年度第1回 開催報告

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)
代表理事 田嶋 伸博
技術委員会 担当理事 草加 浩平
佐藤 員暢

皆様には平素より弊会の活動にご協力賜り心よりお礼申し上げます。

COVID-19の蔓延が止まらない現在、弊会の技術委員会も2021年度からWebにより会員の皆様に情報提供を行う事と致しました。

その第1回として下記の講演をウェビナーで行いましたのでご報告いたします。

■開催日時:2021年6月11日(金)10時~11時48分

■開催場所:マイクロソフト Teams によるウェビナー

■プログラム:

10:00~6分間 開始宣言/代表理事 田嶋 伸博 挨拶

10:06~44分間 「欧州自動車メーカーのEV戦略」

カーボンニュートラルを目指す欧州自動車メーカーのEV開発戦略

★山根健オフィス代表 山根 健 氏*1

10:50~6分間 上記に対するQ&A

10:56~38分間 Honda e ~ コンセプト・性能・新技術を開発者が語る ~

★本田技研工業株式会社 開発責任者 一瀬 智史 氏*2

11:34~7分間 上記に対するQ&A

11:41~7分間 技術委員会担当理事(草加 浩平、佐藤 員暢) 挨拶

11:48 閉会宣言

【講師略歴】

★山根 健 氏*1

日産自動車(株)にてエンジン研究開発、レースエンジン開発に従事。BMWにて車両総合評価、水素エンジン、電気自動車、レースエンジン開発を担当。パワートレインを中心に自動車技術全般を研究。BMW Japan エンジニアリング本部統括部長、技術顧問を歴任。



山根健オフィス代表 山根 健 氏

★一瀬 智史 氏*2

Hondaへ入社後は、CIVICなどの部品設計やスーパーカーNSXを使用した社内提案プロジェクトなどに参画し、主にエクステリア設計を中心としたキャリアを積む。2016年より「Honda e」の車体開発に携わり、2020年より開発責任者として現在に至る。



本田技研工業(株) 一瀬 智史 氏

■ご出席者【企業・団体】アイウエオ順

旭化成(株)、伊藤忠エネクス(株)、コアテック(株)、コンチネンタルオートモーティブ(株)、CBC(株)、下田工業(株)、スズキ(株)、住友商事マシネックス(株)、一般社団法人 全日本駐車協会、(株)ダイヘン、東京産業(株)、東洋システム(株)、トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、日産自動車(株)、日本パナトロニック(株)、(株)日の丸リムジン、(株) 水上 パーツ商会、(株)矢野経済研究所、ヤマハ発動機(株)、早稲田大学

■内容:(このオンラインウェビナーの動画はを編集後、会員専用 SNS で視聴リンクをお知らせ致します)

◎代表理事 田嶋 伸博 挨拶

ご参加の皆様に対するお礼に続き、技術委員会をウェビナーで行う本年度第一回に山根様・一瀬様から貴重なお話を伺う事に感謝を述べた。
「2020年10月日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言とそれを受けた12月のグリーン成長戦略発表、又、東京都は2021年2月に2021年度を『非ガソリン化元年』と位置付け2030年の非ガソリン化等を発表し、2021年3月にはカーボンニュートラルに向けた経済産業省・国土交通省主催の『自動車政策検討会第一回』が開かれた事に触れ、会員の皆様に最新の技術情報を提供することにより、APEVの目標であるモビリティ電動化を進めて参りたい」とのメッセージで締めくくった。



◎「欧州自動車メーカーのEV戦略」～カーボンニュートラルを目指す欧州自動車メーカーのEV開発戦略



山根健オフィス代表 山根 健 氏から下記の幅の広い内容をスライドで説明があり、その後活発な質疑応答があった。
>>この発表資料抜粋は APEV 会員専用 SNS で公開します。

1. 地球温暖化問題からカーボンニュートラルに至る世界的な動向
 - 1.1 自動車を取り巻く様々な課題(マスク法のもたらしたもの)、1.2 エネルギー問題、1.3 地球温暖化、1.4 COP、1.5 パリ協定、1.6 SDGs
2. カーボンニュートラルを目指すエネルギー転換
 - 2.1 グローバルなエネルギー需要、2.1.1 化石燃料を燃やす動力、2.1.2 エネルギー消費の増加傾向、2.1.3 総エネルギー中自動車に使用される割合、
 - 2.2 電動化と電源、2.2.1 電動車両、2.2.2 充電と電力
 - 2.3 水素の再生可能な燃料としての利用、2.3.1 WE-NET、2.3.2 水素を燃料として利用、2.3.3 燃料電池
3. 乗用車の価格動向、世界の都市化比率の変遷、世界のエネルギー起源 CO2 排出量、ヨーロッパにおける天然ガスパイプライン網・国際送電網と電力の輸出入、世界の日射量マップ
4. 自動車を取り巻く規制動向と対応技術課題、地球温暖化対策に向けた国際的な活動動向、ZEV 規制、車両重量と燃費の動向、燃費向上アイテムとコスト、EUにおける乗用車販売動向
5. 欧州連合(EU)と欧州委員会(EC)、欧州グリーンディール、EUのカーボンニュートラルシナリオ、LCA(Life-Cycle Assessment)規制、電池のEU域内生産、単位労働コスト
6. ドイツを始めとした欧州自動車メーカーの取り組み、主要研究機関、フラウンホーファー研究機構、ミュンヘンの「シリコンバレー」、VWグループの電動化自動車、VWの株主構成、Daimler AGの株主構成と販売先、BMWの株主構成、Renaultの株主構成、London TaxiとMilk car



本田技研工業株式会社 開発責任者 一瀬 智史 氏から Honda e について下記の詳細な内容をスライドで説明があり、その後活発な質疑応答があった。

1) コンセプト編

- ・ Honda らしさの徹底的追求：創業者本田宗一郎の想い「他の模倣をせず世界一を」、
- ・ 将来を見据えた先進性で 2030 年のイメージを 2020 年の技術で達成
- ・ EV が活きる街中ベストのクルマ：小ささを磨く
- ・ すべてがシームレスにつながる未来社会：シームレスクリエイター

2) 技術編

- ・ 「つるピカ」デザイン
- ・ サイドカメラミラーシステム：出っ張り少なく視界良好
- ・ プラットフォーム：当初の FF から RR に変更し最小回転半径 4.3m
- ・ 走行モード+シングルペダルコントロール+減速セレクター（最大 0.18G）
- ・ パイロットパーキング支援システム
- ・ 満充電 WLTC 283 km、30 分充電で 202 km 走行
- ・ ワイドビジョンインストルメントパネル：「驚き」を演出し、マルチタスク可能
- ・ AI 音声認識、コネクテッド、ホンダアプリセンター
- ・ V2G：欧州でホンダプロトコルを実験中
- ・ V2L：100V1500W コンセント付、V2H 可
- ・ ドイツ COTY 2021 1 位、WCOTY 2021 2 位授賞

3) 最後に、2021 年 4 月 23 日に三部新社長が就任会見で「先進国全体での EV、FCV の販売比率を 2030 年に 40%、2035 年には 80%、2040 年には、グローバルで 100%を目指します」と宣言した。（日本メーカー初）
Honda はそれに向けて挑戦すると結んだ。

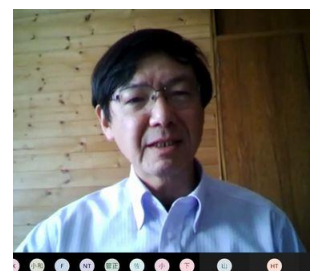
◎技術委員会担当理事 草加 浩平 挨拶

山根様と一瀬様にお礼を申し上げます。

山根様のご講演では、私自身が持っていた日本の自動車メーカーの温暖化対策の遅れに対する危機感を共有できた。

一瀬様のご講演で我が意を得たのは、Honda e が EV の特性の良い所を生かした上で狭域交通に特化することで電池をむやみに増やさず、軽量化して効率を良くした事である。

次回以降の技術委員会で聞きたい事・話したい事を募集中なので、ご協力をお願いしたい。



◎技術委員会担当理事 佐藤 員暢 挨拶

ご参加の皆様にお礼申し上げます。

技術委員会は今後このウェビナーを続け、今年度は8月、11月、来年2月を予定している。8月には動力用リチウムイオン電池について、「リサイクルの最新事情について」及び「APEVの行ったR100試験結果のご報告」を考えている。

日程が決まり次第知らせするので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。



以上

※一般社団法人 電気自動車普及協会では、引き続き会員を募集しております。

●トップページ <http://www.apev.jp/>

●入会ご案内ページ <http://www.apev.jp/entry/>

●正会員（企業向け）：年会費 1口10万円

賛助会員（個人向け）：年会費 1口1万円

特別会員（行政機関・官公庁・マスコミ関係者様向け）：年会費 無料

問い合わせ：一般社団法人 電気自動車普及協会（APEV） 技術委員会 事務局 安嶋
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール
TEL：050-3375-4937 FAX：050-3153-2686 E-mail：info@apev.jp Website：
<http://www.apev.jp/>